

## 様式第2号（第8条関係）

## 審議会等会議録

会議の名称	令和7年度 第3回 加須市通園通学区域審議会
開催日時	令和8年1月22日（木） 午後2時00分から午後3時40分まで
開催場所	加須保健センター 2階会議室
議長氏名	横山 安男 会長
出席委員	横山 安男 会長、大熊 良章 副会長、遠藤 幸夫 委員、駒 俊明 委員、田村 智彦 委員、關 勝 委員、上松 寿明 委員、土屋 一 委員、生田 寿宗 委員、五月女 政司 委員、榎本 華委員、藤井 信博 委員、山口 由起子 委員、酒巻 克太郎 委員、大井 晋 委員、塚本 直樹 委員、清水 博文 委員（17人）
欠席委員	長谷部 守男 委員、平山 奈津美 委員（2人）
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 （1）通学区域の見直しについて （2）変更となった通学区域に居住する児童生徒の対応について （3）その他 4 閉 会
会議資料の名称	・【資料1】通学区域の見直しについて ・【資料2】通学区域（再編案） ・【資料3】昭和中学校及び加須東中学校の通学区域
会議の公開又は非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴者の数	0人
事務局職員職・氏名	学校教育課長 高橋一也、学校教育課主幹 田中崇亮、同課主幹 大沢智紀、同課教育専門員 杉田勝
会議録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> 全文記録
その他必要な事項	

様式第3号（第8条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
事務局	1 開会
事務局	2 会長あいさつ 高橋学校教育課長及び横山会長にご挨拶をいただきたい。
高橋学校教育課長 横山会長	あいさつ
事務局	以後の議事進行については、横山会長にお願いしたい。
横山会長（議長）	3 議事 (1) 通学区域の見直しについて、事務局から説明をお願いする。
高橋学校教育課長	(資料に基づき説明) 資料に提示している案はあくまでも一例で、委員の皆様の意見をいただきたい。
横山会長（議長）	通学区域の見直しについて、田村委員が下高柳で住民の意見を集約する機会があったということで、ご発言いただきたい。
田村委員	地区の意見を審議会に反映したいという目的で、住民から意見を集約した。 見直しに反対の立場の方から、学区の見直し以外に方法はないか、自治会が分断される、通学時の安全面に課題がある等の意見があった。 見直しに賛成の立場の方から、児童数の増加で学校行事に支障を感じている、自治会は従来通りでもよいのではないかな等の意見があった。 また、対象の地区へ向けた説明会を開いてほしいとの要望もあった。
大熊副会長	水深小学校の学校運営協議会において、学区の見直しについて経緯を説明した。自治会と通学区域の関係が切れないよう関連付けて検討してほしいとの声が多かった。
土屋委員	水深小の歴代 PTA 会長に意見を伺う機会があった。こどものことを第一に考えるのであれば、このまま学区見直しを進めるべきだという意見であった。
酒巻委員	審議会立ち上げ時から水深小の保護者には、保護者連絡アプリを使って加須市通園通学区域審議会の資料や議事録へのリンクを配信して

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
	<p>いる。今のところ、保護者から今回の件についての問い合わせはない。</p> <p>先日行った学校運営協議会では、学区と自治体を関連付けてほしい、現在でも私立学校に行く子と公立学校に行く子が混在しているので見直しがあっても自治体への意識は変わらないのではないか、令和9年4月からの実施は急ぎ過ぎるのではないかといった意見があった。</p>
遠藤委員	<p>常泉地区が学区を変える対象となっていることについて、賛成・反対が同等数である。常泉地区の人数はあまり多くないので全体数にそれほど影響はないと思うが、学校は近くなる。常泉が変更の対象となる意味はあるのかという思いはある。</p>
横山会長（議長）	<p>学区と自治体の関連について、見直す区域がまとまっていない現段階では話し合えない。通学区域を見直すとしたらどこで区切るかを、審議会としてまとめていきたい。</p>
關 委員	<p>新学区の開始を令和9年4月とするならば、そこまでに通学路の安全等、整えられるようにしていただきたい。令和9年4月には間に合わないのではないか。</p>
高橋学校教育課長	<p>通学路については、通学区域が決定した上で調査を進めていくという手順になる。</p> <p>令和9年4月から始めるというのは、あくまで案である。審議会の中で、「課題が多いので令和9年は厳しいのではないか」という答申でも構わない。審議会の中で意見を出し、審議会としての答申をいただければと思う。</p>
生田委員	<p>常泉から加須南小まで歩いてみたが、信号もなく車通りが多い危ない箇所がある。想定の特通路があると良いと思う。</p>
藤井委員	<p>学区が決まった後に、こども達を通る場所を決めて安全対策を考えていく必要がある。</p>
横山会長（議長）	<p>昭和中学校の特通路の現状はどうか。</p>
塚本委員	<p>南小から通学するこども達は線路を越えている。また学校から一定の距離内に家がある場合は徒歩通学となっている。</p>

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
酒巻委員	どの地区で分けるかをまとめるということだったが、地域には分けることに反対する意見もある。説明会は行うのか。
高橋学校教育課長	説明会の必要性についても審議いただきたい。説明会の中でどんな説明が必要かも意見を出していただきたい。
田村委員	説明会は実施してほしい。学区がどう決まっていたのかを含めて説明をするとよいと思う。反対する人たちも経緯について気になっている。
山口委員	幼稚園でも、どのように学区が変わるのか話題になっている。説明会を行うのであれば、幼稚園の保護者も説明を受けたいと思っている。
横山委員(議長)	審議会としては、説明会を行っていただきたいということでご賛同いただけるか。→異議なし
高橋学校教育課長	説明会の時期や内容については、審議会の中でも練る必要がある。審議会と委員会は対立の立場ではなく、教育委員会から諮問をさせていただいているということをご理解いただきたい。現状、審議会の中で決定に至っていない状況なので、現段階では説明会は開けないと考えている。
塚本委員	小学校区と自治会区は一致していた方がよいのか。
田村委員	学区の見直しに反対する方たちは、一致させるべきという人が多いが、別に考えてもよいのではないかという意見もある。 下高柳地区は全体で700～800世帯ある。大きくなっているため見直しが必要な時期とも考えられる。ただし、昔からの地区を大切にしたいという気持ちも分かる。
高橋学校教育課長	資料の地区の分け方は、あくまで参考としていただく案なので、選択肢として示したわけではないし、すでに決定しているものでもない。他の案を出していただいて構わない。
田村委員	見直すとしたときの分け方は、案のとおりがわかりやすく妥当ではないか。

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
横山委員(議長)	138号線で分けるか、加須菖蒲線で分けるかとなってくるが戸数の増加の見立てはどうか。
田村委員	<p>個人的な見立てでは、下高柳地区全体では149戸増えるの見込んでいる。加須菖蒲線より西が23戸増、中地区が29戸増、下地区が97戸増であると見立てている。</p> <p>戸数の増加を考えると、138号線で分ける効果は大きい。138号線から東も南小へ移動となると反対は大きいだろう。</p>
大熊副会長	水深小の学校運営協議会では、行政区との兼ね合いが引っかかっていた。小学校の学区は見直しても、行政区は今ままで残してほしいと考える。小学校区を見直し、中学校区は行政区と合わせて、学区を今のままにしてほしい。
横山委員(議長)	加須南小の児童数の推移はどうか。
事務局(田中)	令和9年度には139名、令和10年度以降120名前後で推移していくという試算となっている。
関 委員	加須南小の学区は家族単位で移り住んでくる世帯は少ない。
横山委員(議会)	自治会との兼ね合いについては、今後考える必要もあると思うが、審議会として、学区を見直すのであればどの区域で分けるのがよいかまとめていきたい。
酒巻委員	水深小としては、教室が不足していくということで、何かしらの手を打たないといけないと認識している。学区の見直しという手立を行うという視点であれば、138号線で分け常泉も移動するという分け方が効果が大きいと考える。
遠藤委員	常泉を含めても含めなくても数に大きな影響は無いと思う。ただ、常泉地区としては通う学校への距離が近くなるというメリットはある。
酒巻委員	審議会として早めに意見をまとめ、説明をしていく必要がある。審議会として見直しについて整理して、答申し、住民に説明していくことが理解へつながると考える。事務局案をもとに考えていくのがよい

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
	のではないか。
上松委員	そもそもの目的であるこども達の教育環境を整えることを第一に考えるべきである。最大限、加須南小に移動できる方法を考える必要があるのではないか。通学路の問題はないがしろにはできないので、付帯事項として、最大限効果が期待できるものを審議会としてまとめるべきである。
横山委員(議長)	水深小学校のこども達の教育環境を整えるという視点で見直しをすると138号線で分け、常泉地区も移動するとよいというまとめでよろしいか。 →異議なし
横山委員(議長)	3 議事 (2) 変更となった区域に居住する児童生徒の対応について、事務局から説明をお願いします。
高橋学校教育課長	(資料に基づき説明) 時間が限られているので、議題(2)については持ち帰っていただき、次回意見をお聞きしたい。
横山委員(議長)	(3) その他について事務局より説明をお願いします。
事務局(田中)	次回の審議会は2月下旬を予定している。
横山委員(議長)	次回は2月下旬となるということです。次回は変更となった区域に居住する児童生徒の対応について、意見を持ち寄ってほしい。
事務局	4 閉会
<p>会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。</p> <p>令和8年 2月 17日</p> <p style="text-align: right;">署名 <u>横山安男</u></p>	